

## 現代家政学科カリキュラムの特長

現代家政学科は、衣・食・住をはじめとして、家族や家庭のことから消費生活、生活文化、さらには地球環境まで、広汎なテーマを研究する学科です。また、現代社会における生活の課題を発見し、解決するための実践力を身につけることを目指します。

衣・食・住を含め家政学を横断的に学ぶカリキュラムは、家政系4年制大学のなかでも特色があります。

(1) 4つの学びの分野のカリキュラムで、専門性を高めます。

「食文化」分野では、食を総合的に学び、くらしに活用する力を養います。

「リビング」分野では、インテリアから地球環境まで幅広い視野を持って、くらしやすい住空間を企画立案する力を養います。

「ファッション」分野では、人・社会に役立つファッション力を養います。

「総合家政」分野では、「現代家政・生活教育」「生活ビジネス」「生活文化」から人々の生活を考え、提案できる力を養います。

(2) 1年次より専門科目を履修することができます。

(3) 教室内での講義と、実習・演習、見学・調査など、学外での活動も含む多彩な授業が用意されています。

(4) 学びの方向は自分でつくります。

1) 自分の希望する領域・分野を追究し専門性を高められます。あるいは、複数の分野にわたって横断的に学ぶことで、広い視野で生活をとらえることができます。

2) 中学校・高等学校教諭一種免許（家庭）、二級建築士、学芸員をはじめとして、それぞれの領域・分野で資格を目指すこともできます。





